

# 平成26年度 厚田区内 各団体活動報告

厚田区コミュニティ「ゆめ倶楽部」(旧:厚田区自治体育振興会) (平成18年10月26日設立 会員数 25名)

## 【目的】

スポーツ・食を通じた地域振興に取り組み、地域住民の健康増進と地域間・世代間の交流・親睦を図る事業展開を進め、区内外で「ふるさと厚田」をPRし、地域活性化を図る

## 【活動内容】

### ●厚田区スポーツと食の体験(6/22)

会場:望来みなくる 野外広場 入場者数:約150名

(玉入れ競技)11チーム 66名参加

・小学生の部4チーム 一般の部3チーム 高齢者の部4チーム

(くぐってみてWA)60名参加

・参加者を2チームに分け、各チームごと手をつなぎフ  
ラフープの輪をくぐり渡し、タイムを争う

(紙飛行機グランプリ)小学生から一般まで50名参加

・紙飛行機を作成し、飛行距離を競う

(食のひろば)

・食のチャレンジ(みなくるホールにて、そばアートをつくり、使用後そばかりんとうにして試食)

・味わいタイム(厚田産そば、望来丼、ホタテ稚貝コロッケ、きのこ村しいたけ、JA加工品など)



### ◆厚田サンセットヒルフェスティバル(7/27)

会場:観光案内所北側スペース

・望来豚使用豚串とソーセージ、ホタテ焼き、冷やしたぬきそば 販売

・観光案内所の販売



### ◆夕日の丘ビアガーデン(8/8)

会場:観光案内所北側スペース

・望来豚ソーセージ、おでん、ホタテ焼き、豚串、望来丼 販売

・はまなす園(焼きそば)、JA(ビール、しそサイダー)出店協力

・ニトリ「かもめ荘」にて地元食材PR

### ●厚田区カローリング大会(10/15)

会場:厚田中学校体育館

・参加チーム、選手人数:16チーム 50名

※浜益大会派遣:3チーム 9名(11/13)

※全道交流会派遣:3チーム 9名(11/23)



### ●厚田区ミニバレー大会(11/16)

・入場者数:約100名 参加チーム、選手人数:21チーム 92名

・小学生の部、中学生の部、一般の部(男女混成)に分け実施

### ●厚田区ウィンターレクフェスタ(2/15)

入場者数:約150名

・スキー回転(小学生15名、中学生8名、一般10名)

・チューブレース(中学生以上15チーム 30名参加)

・人間カーリング選手権(小学生15名一般10名参加)

・ステージイベント(じゃんけん大会、ビンゴ大会)

・雪の滑り台2基設置(ジャンボ、ちびっ子)

・雪像コンテスト4基エントリー

・屋台コーナー(豚汁、豚串、ライス、ホットドリンク各種)



### ◆石狩JC「寒中石狩屋台村イベント」出店協力(2/7)

会場:石狩市役所前広場 豚串、しるこ、ホットドリンク販売

### ●会議数 8回(総会、実行委員会等)

【目的】

森林施業などの各種体験を通して区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り・山づくりに寄与し、山のすばらしさを多くの人たちと共有する。

【活動内容】

- 流れ橋架け (5月)
- 下草刈り
  - ・生活環境保全保安林 (6月~7月 5日程)
  - ・すこやかロード (6月~8月 6日程)
  - ・あつたふるさとの森 (6月~7月 5日程)
  - ・協働事業管理車・歩道 (6月~7月 5日程)
  - ・市こども育成会連絡協議会植樹林 (6月~7月 5日程)
  - ・石狩湾漁協植栽林 (6月~7月 5日程)
- 安全教室 (6月)
- 地ごしらい (あつたふるさとの森 10月)
- 植栽
  - ・ニトリ桜 (5月)
  - ・あつたふるさとの森 (10月)
- 除間伐 (生活環境保全保安林 11月)
- 会議数 2回 (総会、役員会等)



【目的】

区内において地域の人達でお互いに地域を支え合い、安心して住み続けることができるシステムの構築を図るとともに、日常生活を支援し、住民の健康増進、福祉の向上に寄与する。

【活動内容】

●会員数

〈利用者会員数〉 42名 (内 移送31名登録) ※26年度新規加入者 10名

〈サポーター会員〉 20名

〈賛助会員〉 15名

●委員会 (会議) 12回 (安全運転講習会 内2回)

●事業項目と詳細

〈移送事業〉

・利用者数 558名

・サポーター出動数 延べ240名

(バス86回・高齢者クラブ122回・いきいき小24回)

〈除雪事業〉

・依頼件数 17件

・延べ作業時間 80H

・延べサポーター出動数 59人

●事業収入

〈移送事業〉114,600円 〈除雪事業〉72,150円



## 【目的】

子母澤寛、戸田城聖、吉葉山潤之輔、佐藤松太郎の四名を中心に広く紹介し、歴史・文化に触れ親しんでもらうと共に厚田を全道・全国にPRし、新たな地域づくり、歴史文化の伝承を図る。

## 【活動内容】

●年間入館者数 158日間 2,627名 (H25実績 3,224名)

●年間入館料 390,560円 (H25実績 579,120円)

●入館者増に向けての取り組み

〈特別展〉

1. 「5つの視点から見た戸田城聖」

期間：5/3～10/31 (156日間)

2. 「北海道会(議会)と佐藤松太郎」

期間：7/29～8/19 (18日間)

3. 「北の海厚田アクアレル第1回水彩画展入賞作品(4点)展示」

期間：7/27～8/10 (13日間)

〈プレゼント企画(書籍 弁財船と厚田村)〉

第1弾：5/1～5/26 (23日間)

応募数 251名 当選者 20名

第2弾：7/27～9/1 (32日間)

応募数 229名 当選者 20名

〈北海道ラウンドきっぷ販売〉 5/1～10/31

販売数 221枚 (戸田 120枚、吉葉山 34枚、子母澤 33枚、佐藤 34枚)

(累計) 1,177枚 (戸田 823枚、吉葉山 123枚、子母澤 116枚、佐藤 115枚)

※H25から販売

〈戸田記念墓地公園ポスター掲示〉

桜時期：5/1～5/26 お盆時期：7/27～9/1

●会議数 6回



**地域教育分科会**（平成22年2月17日発足 会員数 10名）

**【目的】**

地域の子ども達の教育向上に向け、「地域」「保護者」「学校」が一体となった地域教育を目指す。

**【活動内容】**

今年度分科会としては休止状態であるが、学校統合検討委員会への参加など、教育関係機関との連携を図りながら、将来を見据えた厚田区の教育のあり方、方向性の検討に加わっている。



【目的】

厚田のすばらしさを水彩画展を通してPRし、優れた芸術・文化に触れることで、豊かな人間性を育み、新たな地域づくりを目指す。

北の海厚田アクアレーン「第2回水彩画展」

●作品公募（期間 H25.6.15～H26.6.30）

【応募点数】106点

【応募者数】86名（道内73（うち市内10）、道外13）

【PR方法】ポスター（337か所）、市HP、広報、道新、  
民間HP、絵画教室・サークルでの紹介



●看板設営

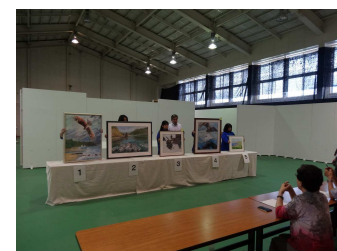
やまどりの協力により看板の製作、設置。

（カウントダウン看板、開催告知看板）

●作品搬入（7/5～6 石狩市厚田スポーツセンター）

【搬入点数】全106点

実行委員、支所職員により作品の運搬、受付実施



●審査会（7/13 石狩市厚田スポーツセンター）

【審査点数】106点（応募106 うち棄権0）

【審査委員】3名

【ボランティアスタッフ】聚富中学生、教員、地域住民 全17名

【結果】大賞1点、優秀賞2点、佳作9点、入選27点、準入選27点

●展覧会会場設営（7/1 石狩市厚田スポーツセンター）

【展示パネル設営】

・やまどり、ゆめ倶楽部の協力



●表彰式・パーティー（7/26）

（表彰式：石狩市厚田スポーツセンター）

（パーティー：厚田総合センター 2階ホール ※雨天により）

【表彰式・講評】

・出席者 39名（受賞関係者11、来賓24）

・講評 審査委員長より各作品の講評



【パーティー】

・出席者 39名

・ボランティアスタッフ 15名（調理、配膳など）

・地元の食材を使った料理12品を振る舞う。



●展覧会（7/27～8/10 石狩市厚田スポーツセンター）

【展示作品】66点

【入場者数】919名（うち厚田区民178名）

【PR方法】ポスター（146か所）、市HP、広報、道新

【特別賞】投票期間：7/27～8/2 投票数：400票

札幌市在住者受賞（獲得票数40票）



●会議数 11回

【目的】

厚田区内の生産者、消費者、販売者等が結集し、厚田の「土地」「味覚」「らしさ」にこだわって、厚田の良さをPRし、また漁業・商業、観光等連携を図り、共に持ち味を出し合い、新たな地域活性化に取り組む。

【活動内容】

●直売事業（本格実施）

〈生産者（団体）数〉 27名 ※うち隊員6名

〈出荷品目〉 37品目

〈期間〉 7/5～9/28の土日 26日間

〈会場〉 旧厚田石油GS（移動販売：海浜プール）

〈販売品目〉

- ・農産物（米、メロン、とうきび等）
- ・JA加工品（しそジュース、ジャム、みそ等）
- ・生しいたけ、乾燥しいたけ
- ・だし昆布

〈スタッフ〉

- ・実人数 18名（隊員7名 ボランティアスタッフ4名）
- ・延人数 179名

〈事業収入等〉

売上額 2,139,996円 仕入額 1,510,513円 人件費等支出額 513,947円  
利益 115,536円

〈スタンプカードの導入〉

毎週買い物をしてくれるお客さん（特に地域の方）に、少しでも還元出来るような取り組みの一つとして、スタンプカードを導入。

（500円購入毎に1スタンプ。スタンプ20個貯まると500円割引券。）

〈お客様感謝デーの開催〉

直売所最終週（9/27・28）にお客様感謝デーとして、さけ鍋とホタテの稚貝汁をお客様に無料配付。

〈勉強会の開催〉

販売員の農作物の知識向上、生育状況把握のため実施。

7/24 高田農園 参加者9名（内容：有機農業について）

〈物販〉

9/7 京都女性の船物販（野菜詰め合せ）販売数18セット



## ●各種イベント出店

- ・戸田記念墓地公園「さくら祭り」(5/13)
- ・夕日の丘ビアガーデン(8/8)
- ・ライジングサンロックフェスティバル(8/15・16)
- ・オータムフェスト(9/12~16)
- ・厚田ふるさとあきあじ祭り(9/23)
- ・濃昼トレイルランニング(10/26)



## ●PR事業

- ・情報発信基地「あった！」  
〈来客者数〉340名(H25実績288名)  
〈Facebook〉投稿数182件(H25実績373件)  
閲覧数74,846件(H25実績34,047件)
- 〈Blog〉投稿数35件(H25実績73件)  
閲覧数48,790件(H25実績21,865件)



- ・電子媒体操作説明会〔初級編〕(3/9) 参加者18名
- ・情報紙発行  
隊の旬な話題、直売所情報など回覧板にて周知。(7月、8月、9月の3回)
- ・スタンプラリー  
観光客の流れの把握、売上や入場者増の相乗効果を図るため実施。  
〈対象店舗等〉6箇所(隊直売店、観光案内所、松浦水産、厚田資料室、情報発信基地「あった!」、アクアレル水彩画展)  
〈期間〉7/26~9/28 応募数:26通 当選者:6人  
〈景品〉「お米」「秋鮭」「加工品詰合せ」いずれかを選択
- ・テレビ放映  
7/20 TVH局「けいざいナビ北海道」で「あった!厚田のほん」が紹介された。

## ●研究開発事業

- ホタテ稚貝入りコロッケの試作、試食会実施
- ・スポーツと食の体験(6/22) 試食会

## ●その他事業

- ・浜益カフェガルへ視察研修(7/4) 参加者9名
- ・若手生産者との交流会(7/18) 参加者25名
- ・はまなす財団シンポジウム(9/8) 参加者4名



## ●会議数

- 大作戦会議 2回 作戦会議 1回
- 各班会議 19回(企画調整班4、生産班4、販売班3、PR班6、研究開発班2)